

看護学部看護学科 シラバスの変更一覧

学年	ページ	科目名
3年	139	災害看護論

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	人間基盤力	連携協働力	専門実践力	学術探究力	課題解決力	NSMi02				
			●		●					
科目名	災害看護論				単位 認定者			評価の方法	授業内課題	100 %
対象学科 必修・選択 配当年次	看護学科	必修	3年	開講時期	後期	単位数	2 単位			
						授業時間数	30 時間			
				授業形態	講義	授業回数	15 回			
授業の概要	災害の種類と特徴、災害サイクルに応じた課題と対処方法等災害発生時に必要な看護の知識と技術、関連する主要な法制度を学ぶ。災害による人々と社会への影響、健康や生活上の問題について理解し、災害時のトリアージ、応急処置、避難所の開設・運営、要配慮者への対応等を学び、災害看護の基礎的知識を学修する。									
到達目標	1. 災害看護の概要と災害サイクルに応じた看護の役割機能を理解できる。 2. 災害発生時に必要な看護の実践方法について理解できる。									
学修者への期待等	世界各国で頻発する災害に関心を持ち、専門職として果たすべき役割を認識し、知識と技術が修得できるよう応用力、想像力、創造力を発揮し主体的に学んでほしいです。									
回	授業計画・学修の主題					準備学修		事前学修 時間(分)	事後学修 時間(分)	担当教員
1	【災害看護学概論】 ・災害看護の歴史と定義、倫理、災害の種類と災害サイクル ・災害看護学で用いる基本的な概念					事前学修：テキスト2章A. B1～4を読んで授業に臨む 事後学修：授業を振り返り学修カードを提出する		30	30	
2	【災害看護学概論】 ・災害支援活動と関連する法制度及び関係機関等の役割の理解 ・避難関連、災害時の体系的対応に必要な項目					事前学修：2章B5, 6を読んで授業に臨む 事後学修：教科書・配布資料で復習する		30	30	
3	【災害時に求められる支援活動】 ・災害サイクル各期に応じた看護活動：災害時の看護の役割と健康問題					事前学修：2章C①～⑥まで読んで授業に臨む 事後学修：教科書・配布資料と返却された小テストで復習する		30	30	泉田 さとみ
4	・災害直後、急性期、亜急性期の看護活動：災害拠点病院における救助活動やDMATの活動等					事前学修：2章D①3章A, B, C, Dを読んで臨む 事後学修：教科書・配布資料と返却された小テストで復習する		30	30	泉田 さとみ
5	・東日本大震災後の活動から学ぶ1：巨大津波後の被災地で求められた活動					事前学修：授業前に提示するテーマについて下調べをする 事後学修：授業で取り上げたポイント及び返却された小テストについて復習する		30	30	手塚 有希子
6	・東日本大震災後の活動から学ぶ2：原子力災害による被災地で求められた活動					事前学修：授業前に提示するテーマについて下調べをする 事後学修：授業で取り上げたポイントについて復習する		30	30	

回	授業計画・学修の主題	準備学修	事前学修 時間(分)	事後学修 時間(分)	担当教員
7	【理論と実践の統合】 ・被災当事者と遺族への支援 支援者のストレスマネジメント	事前学修：2章F抄読 事後学修：教科書・ 配布資料で復習する	30	30	阿部 幹佳
8	・災害時に必要な技術1：災害トリアージ	事前学修：2章B③を 読んで授業に臨む 事後学修：返却され た小テストの復習と 課題レポートの提出	30	30	坂村 佐知 泉田 さとみ 手塚 有希子
9	・災害時に必要な技術2：応急処置・搬送法	事前学修：教科書の 巻末資料を読んで授 業に臨む 事後学修：課題レ ポートの提出	30	30	
10	・避難所での支援1：生活環境整備 (感染対策、排泄、疾病の増悪予防の実際)	事前学修：2章D①～ ③を読んで授業に臨 む 事後学修：課題レ ポートの提出,教科 書・配布資料で復習 する	30	30	
11	・避難所での支援2：要配慮者の対応 (精神疾患、認知症の対応も含む)	事前学修：2章E③～ ⑤を読んで授業に臨 む 事後学修：課題レ ポート,教科書・配布 資料で復習する	30	30	
12	・避難所での支援3：周産期福祉避難所 (母子支援、子どもの心のケア、障害を持つ児のケ ア)	事前学修：2章E①～ ②を読んで授業に臨 む 事後学修：課題レ ポートの提出,教科 書・配布資料で復習 する	30	30	
13	【復興期における地域の健康課題と支援の実際】 ・復興期における被災地の実際 (被災当事者による報告等について)	事前学修：授業前に 提示するテーマにつ いて下調べをする 事後学修：授業で取 り上げたポイントに ついて復習する	30	30	手塚 有希子
14	・地域住民の心のケアの実践の中で協働して地域再構 築に取り組んだ事例紹介	事前学修：授業前に 提示するテーマにつ いて下調べをする 事後学修：授業で取 り上げたポイントに ついて復習する	30	30	
15	【総括】 ・災害発生時に必要な看護とは（学修成果発表・ま とめ）	事前学修：これま での授業を教科書や配 布資料で復習する 事後学修：これま での講義や演習をと おして課題レポートを 提出する	30	30	坂村 佐知 泉田 さとみ 手塚 有希子

アクティブ・ラーニング	☐ 該当なし ☒ 該当あり：キーワード（ グループワーク、PBL型演習、実技 ）
教科書	『系統看護学講座 専門分野 看護の統合と実践 [3] 災害看護学・国際看護学』庄野泰乃他編、医学書院
参考文献	『看護と放射線』日本アイソトープ協会編、丸善出版 『ナースিং・グラフィカ 看護の統合と実践③：災害看護』酒井明子他著、MCメディカ出版 『ナースিং・グラフィカ 精神看護学②精神障害と看護の実践』出口禎子他編、MCメディカ出版
備考	8回、9回、10回、11回、12回、15回は 阿部(幹) 、坂村、手塚、泉田で担当し、適宜フィードバックをする。 評価は授業内課題100%（小テスト40%、課題レポート50%、授業内態度10%）とする。 実技は8回、9回、PBLは10回、11回、12回、グループワークは13回、14回、15回で実施する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)	
教員は看護師資格（実務経験5年以上）を有し、東日本大震災で被災地での救護活動や病院内での対応、地域における被災者支援の経験があります。その経験を活かした実践的な授業を行います。（阿部、坂村、手塚、泉田）	